

委員質問・意見書

(12月12日) 受付分

(高桑委員)

● 東京電力HD に対する 質問

代替循環冷却系の運転に関する質問

- ① 12月定例会で「代替循環冷却系は、格納容器ベントにできるだけ至らないようにすることを可能にするシステム」と説明がありました。以前「代替循環冷却系は、準備時間が必要で、重大事故に至るおそれがある事故で格納容器ベントまでに運転開始することができない可能性がある」との説明を聞いたように思います。代替循環冷却系の運転開始には、どのような作業手順が必要で、どれ程の時間を要するのでしょうか。
- ② 代替循環冷却系は「新たな配管を設置し、水を循環させる」とあります。運転を続けた場合、循環している水の放射線量が高くなっていくことが考えられますが、新設配管など関連機器の放射線による劣化はないのでしょうか。
また、高線量の水が循環することで代替循環冷却系周辺の線量が高くなることはないのでしょうか。

(竹内委員)

● 東京電力HD に対する 質問

(1) 資料6 ページ2号機の冷却水系サポートの損傷の原因および、代替循環冷却系の工事について

- ① 損傷したサポートが支えていた配管の直径を教えてください
- ② 7ページの写真ではサポートが直接配管に溶接してありますが、溶接された部分は溶接していない場合よりも強度が落ちると理解しています。配管にサポートを直接溶接していた箇所はどのくらいありますか？
- ③ さらにその中で9ページの「耐震強化後」の写真のような措置をとった箇所と、構造上とることができなかった箇所を教えてください。
- ④ 併せて代替循環冷却系の設置に合わせ、「既存設備の配管を強化するための付随工事が建屋内の多岐にわたる」(news atom 12 4 ページ) とありますが、どのような工事を行ったのか、構造上強化が行えなかった場所があるか教えてください。

(2) 資料12 ページ 建築基準法違反の60か所の防火壁の穴について

- ① 中越沖地震で火災が頻回にありましたが、この穴をふさいでいなかったことと関連はありますか？また中越地震後に、防火壁を含め火災予防のための再点検を行いましたか？(もし再点検を行っていたのであれば、なぜ誰も気づけなかったのかも教えてください。)
- ② 原子炉建屋等重要施設の防火壁にも34か所の穴があったとのことですが、穴の開いていた位置を教えてください。

(3) 資料16 ページからの5号機緊急時対策所についての質問です

- ① 以前、緊急時対策所は機器を置く場所を除くと一人当たり 1.5 m²との説明でしたが、今も変わらないでしょうか？
- ② 17 ページで「■現場要員の待機場所を設置する」としていますが、どこにどの程度の広さのものを設置する予定でしょうか？
- ③ 地震との複合災害での過酷事故の折、職員の方は余震が続く中で命がけの仕事をするので、緊急時対策所と待機場所は十分な環境を整えてあげていただきたいと思います。
(要望)

(12月19日) 受付分

(宮崎委員)

● 東京電力HD に対する 質問

福島第一原発 2 号機での原子炉格納容器ガス管理設備と「未臨界」の関係を教えてください。

12月6日地域の会資料として提出された福島第一原発の廃止措置等に向けた中長期ロードマップ進捗状況(概要版)に「2号機原子炉格納容器ガス管理設備監視不能」の報告がありました。この中に「未臨界」という言葉があり驚いています。裏を返せば「臨界」状態、すなわち「核反応・核分裂＝JCO臨界事故」を連想したからです。

質問(1)「臨界」か否か、どうしてガスで判定するのですか。

どんなガスがどこから出るのですか。なぜ出るのですか。監視しているガスはなんですか。

監視は普段から出ているガスの量を見ているのか、出ていないところに発生したかどうか見ているのか。また、発生ガスの毒性や放射能の強さはどのようになっているのですか。

質問（２）一時的に監視しなかったとありますが、どれだけの時間ですか。

一般的に「臨界」に達するにはどれだけの時間がかかりますか。

質問（３）原子炉を「臨界」にするかどうかは、制御棒の操作で行われます。今回の「臨界」は、原子炉からメルトスルーした核燃料（燃料デブリ）と思いますが、水に直接浸かっている「臨界」状態にならないのはどうしてですか。「臨界」状態にするかしないかどのようにコントロールしているのですか。

質問（４）ことは「臨界」に関わることで大変な脅威です。「臨界」に関わる「監視」ですから、自動計測＝自動警報器だと想像します。どうして、「監視機器」を止める前に、もう一方の「測定器」を起動させなかったのですか。停止してからもう一方の「測定器」を操作するようなマニュアルだったのですか。それとも人為ミスだったのですか。「監視不能」の原因と今後の対策を聞かせてください。

質問（５）「監視不能」が続き「臨界」にいたった場合、どのような経過をたどり最悪どうなるのでしょうか。仮に、この「監視不能」中に、「臨界」状態になった場合、どのように対処することになっていましたか。

質問（６）この「監視機器」は、メルトスルーを想定し建設時から設置されたものか、原発事故後設置したものか。事故後の場合、高線量下での作業があったのか。教えてください。また、柏崎刈羽原発に、メルトスルーを想定して「臨界監視機器」が設備されていますか。

質問（７）今回の事態は、原子炉での制御棒引き抜け事故に相当すると思います。重大事態だったわけですが、国への報告や国からの処分はあったのですか。

以上